

平成29年度第4回政策会議

日時 平成30年1月11日（木）10:00～10:10

会場 市長会議室

参集者 工藤市長 中林副市長 片岡副市長 川越企業局長 辻教育長
種田企画部長 小野総務部長 入江財務部長

1 南かやべ保養センターおよびホテルひろめ荘の民営化について

◎対応 佐藤南茅部支所長 佐藤地域振興課長 西村産業建設課長

◆ 議題の趣旨 ◆

南かやべ保養センターおよびホテルひろめ荘の民営化について協議しました。

◆ 協議の結果 ◆

本件の内容は了承されました。

◆ おもな発言 ◆

■佐藤南茅部支所長

南かやべ保養センターおよびホテルひろめ荘については、「今後の公共施設のあり方に関する基本方針」において民営化する施設と位置付けられ、売却の進め方について検討を進めてきた。両施設については、平成19年度から公募による完全利用料金制の指定管理者制度を導入しており、平成19年度から5年間、平成24年度から5年間、平成29年度から3年間の計13年間、指定管理者により運営している状況である。3回とも公募により指定管理者を決定しており、最初は3社、2回目と3回目については、現指定管理者の1社のみ応募で決定している。結果的に、現指定管理者が13年間管理しているという状況である。

指定管理者の運営状況は良好であり、過去10年間で約2億円の黒字を計上しているが、一方で、その間の市の修繕費は1億円となっている。両施設とも供用開始から20年以上が経過し、今後の維持費の負担が見込まれることや民間の類似施設が多くあること、民間経営による条例に縛られない自由で収益性の高い運営は利用者にとってもメリットになると考えることから、公募プロポーザル方式により売却先を選定し、現在の指定管理期間が満了する平成32年4月から売却による民営化とすることとしたい。

対象物件は、南かやべ保養センターとホテルひろめ荘の2つの建物と、4筆の土地、2つの源泉で、売却最低価格については、建物診断の結果を踏まえて不動産鑑定評価を行い、総合的に決定したいと考えている。売却先については、学識経験者や地元各種団体等から構成する選定委員会を設け、選定することとしたいと考えている。

今後の日程については、平成30年度に測量、建物診断、不動産鑑定等の調査を行い、平成31年度には、公募プロポーザルを実施して売却先の決定、条例改正等を行

い、平成32年4月1日に引き渡し、9月に起債の繰上償還と考えている。

主な譲渡条件として、南かやべ保養センターは年間約10万人、うち大多数が地元利用であり、高齢者入浴優待事業施設に指定されており、年間1万2千人利用されていること、また、ホテルひろめ荘の宴会利用の45%が地元利用であること等から、地域の理解、影響を考慮し、旅館業の経営実績があることや5年間の公衆浴場運営や利用料金の激変緩和措置等を条件とし、買い戻し特約を付した売買契約とすることとしたい。詳細については、今後内容を詰めることとする。

■工藤市長

完全民営化になるのか。

■佐藤南茅部支所長

そうである。

■工藤市長

両施設はいつ建設されたのか。

■佐藤南茅部支所長

保養センターについては、平成2年に建設し、平成18年に浴場棟の全面改修を行った。ひろめ荘については、平成7年に建設した。

■工藤市長

谷地頭温泉を売却したときの手順は参考にしているのか。

■佐藤南茅部支所長

参考にしている。

■種田企画部長

他に意見がないようなので、本件については了承とさせていただきます。